

平成 17 年度 能力開発研究会

記

1. 会合名称 「能力開発研究会」第 214 回例会（17 年度 第 6 回例会）
2. 希望日時 平成 18 年 2 月 8 日 13:30～16:00（質疑応答時間を含みます）
3. 会 場 香川県高松市四国電力会議室
4. 参加者 当本部 能力開発研究会 会員 20～30 名 程度
5. 内 容
 - ・企業の人事・教育部門の責任者、担当者として、担当業務に関する知識の涵養はもちろん、自らの能力開発のためにさまざま理論を学ぶ機会を持つことは不可欠です。
 - ・今回は、発明的問題解決理論 T R I Z について、学ぶことにより、当研究会会員の今後の業務遂行に役立てていきたいと考えております。
また、取り上げるテーマは、人事・教育担当者がイメージしやすく、それ自体も参考となる富士ゼロックス様の「キャリア・アドバイザー制」を取り上げていただき、T R I Z について御教示賜りたいと存じます。
 - ・タイトルは
「発明的問題解決理論 TRIZ の人材開発施策への応用」と
「富士ゼロックス のキャリア相談制度の概要」

四国生産性本部 能力開発研究会 の概要

本研究会は、企業における人材育成・教育訓練のあり方について、理論と実例の両面から研究を深めることをねらいに、昭和42年9月に発足した研究会です。

時代が激変して行く中で、メンバー各位が「人づくり」の大切さを認識し、その時代における課題をテーマに、専門家によるヒアリング、先進企業の事例研究、そして会員相互の情報交換等を通じて幅広い活動を展開しております

1. 目的 企業における人材育成ならびに教育訓練のあり方について研究を深めるとともに会員相互の情報交換を通じて企業の活性化に役立てます。
2. 会員 本会の趣旨に賛同いただき、入会を希望される人事・教育部門の責任者および担当者をもって構成します。(会員登録者1名、代理出席者1名とします)
3. 幹事 上記会員の中から互選により代表幹事1名、幹事若干名を選出のうえ幹事会を開催し、研究会の効果的な運営に努めます。
4. 活動内容 (1) 定例研究会の開催(年間6回)
(2) 特別研究会の開催(随時)
(3) 関係資料の収集、紹介、配布
(4) 交流会、幹事会 など
5. 活動期間 毎年4月から翌年3月まで
6. 会員組織 H16.12.27 現在(五十音順、敬称略)37社(37名)

株阿波銀行、阿波製紙株、株徳島銀行、
穴吹興産株、株穴吹工務店、株穴吹システムズ、株STNet、大倉工業株、
株香川銀行、株合田工務店、株幸・、JA香川アグリティ香川研修センター、
四国化成工業株、四国計測工業株、(財)四国電気保安協会、四国電力株、
四変テック株、株セシール、株瀬戸内海放送、高松信用金庫、株タダノ、
ティーメック株、(財)阪大微生物研究会観音寺研究所、株百十四銀行、
山下社会保険労務士事務所、ユニ・チャーム株、四電エンジニアリング株、
株四電工、四電ビジネス株、
(協)一宮開発グループ、株伊予銀行、株愛媛銀行、
全国農業協同組合連合会愛媛県本部、住友化学工場株愛媛工場、住友共同電力株、
株四国銀行、ニッポン高度紙工業株

以上

平成 16 年度 能力開発研究会 活動実績

日時・場所	内 容 ・ 講 師
第203回 5月27日(木) 13:30～16:00 四国電力(株) 総合研修所 201研修室	<p>「社員研修インストラクターの役割と効果的な研修技法」</p> <p>研修プログラムを効果的なものにするかどうかは、インストラクターのパーソナリティや話術そして研修ニーズや対象者にあった研修技法の導入に大きく左右されます。研修スタッフ必須知識であるインストラクターの役割と研修技法の習得を目指します。</p> <p><講師> マネジメントアドバイス 代表 田中 久夫 氏</p>
第204回 7月7日(水) 13:30～16:00 香川県歴史博物館 研修室	<p>「教育研修をめぐる法律問題～トラブルを未然に防ぐために～」</p> <p>経営環境の変化や個人の価値観の多様化等により、社員教育・研修の実施にあたってトラブルが発生するケースが増えているようです。人材育成担当者として知っておきたい教育研修分野に関する法律問題について解説いたします。</p> <p><講師> 安西・外井法律事務所 弁護士 外井 浩志 氏</p>
第205回 9月2日(木) 1 13:30～16:00 四国電力(株) 総合研修所 401研修室	<p>「『対話』による意思決定とチームづくり」</p> <p>物事の白黒・優劣をはっきりさせるために有効である「討議(ディスカッション)」に対し、問いかけにより相手の気づきを促す「対話」は、複雑な問題や解決策の明確でないテーマへの対応に有効です。組織内の質の高い意思決定については、すぐれたチームづくりにつながる経営品質向上活動における「対話」の考え方や具体的な進め方について理解を深めます。</p> <p><講師> (株)マーケティングプロモーションセンター 代表取締役 岡本 正耿 氏</p>
第206回 10月7日(木) 13:30～16:00 四国電力(株) 総合研修所 402研修室	<p>「自律した人材の育成と強化～社員のキャリア自律を促進するしくみとマネージャの役割～」</p> <p>現在、社員のキャリア開発・能力開発の自律が望まれています。全てが本人任せでは自社の求める人材を効果的・効率的に育成、確保できるとは限りません。日本ヒューレット・パッカド様のキャリア・能力開発を軸とするしくみとそれに関わるマネージャの役割について研究します。</p> <p><講師> 日本ヒューレット・パッカド(株) 代表取締役 川合 昭子 氏</p>
第207回 12月15日(水) 13:30～16:00 ウェルシティ高松 1F 玉藻	<p>「中高年層の意識改革・活性化をめざした人材活性化プログラムの実際」</p> <p>人事・賃金制度の抜本的な改革を行う企業が増える中、社員の中でも、とりわけ中高年層の活性化を模索しているケースが見受けられます。日本ドレーク・ビーム・モリンの数多いコンサルティング実績に基づく中高年層の意識改革・活性化プログラムについて理解を深めます。</p> <p><講師> 日本ドレーク・ビーム・モリン(株) シニアファシリテーター 秋山 卓美 氏</p>
第208回 17年2月4日(金) 13:30～16:00 四国電力(株) 総合研修所 403研修室	<p>「大変革期の企業を支えるリーダーシップ～モチベーションを軸にミドルから変革を起こす～」</p> <p>経営環境の急激かつ大きな変化、そして社員の就業意識多様化の中、企業の将来を担う管理者にとって、今どのようなリーダーシップが必要なのか？そしてその身につけ方は？このような問題意識のもと、新日鐵化学様の企業風土改革を支えたリーダーシップを研究いたします。</p> <p><講師> 新日鐵化学(株) 半導体関連製品開発グループ 統括マネージャー 幡野 千尋 氏</p>